

第5次総合計画前期基本計画 令和7年度進捗評価

1. 第5次総合計画前期基本計画で定めた大綱別施策の柱の成果指標及び実施計画事業の活動指標の達成状況

(1) 成果指標の進捗

○:実績の数値が目標値を達成している 又は

実績の数値が前年より目標値に近づいている。

△:実績の数値が前年より目標値から離れている。

－:とりまとめ時点で指標の数値が公表されていないもの(R5・R6)。

	○			△			－			計		
	R5	R6	R7	R5	R6	R7	R5	R6	R7	R5	R6	R7
大綱1	4	8	7	8	4	5	0	0	0	12	12	12
大綱2	9	6	7	4	7	6	0	0	0	13	13	13
大綱3	11	7	8	2	5	5	0	1	0	13	13	13
大綱4	14	13	14	2	5	4	2	0	0	18	18	18
大綱5	10	13	14	5	2	1	0	0	0	15	15	15
計	48	47	50	21	23	21	2	1	0	71	71	71

(2) 活動指標の進捗

○:R7目標値以上

△:R7目標値未満

－:R7 時点終了事業、重複事業、児童手当等子育て関連法定受託事務

	○	△	－	計
大綱1	59	35	6	100
大綱2	15	19	0	34
大綱3	66	28	0	94
大綱4	26	16	2	44
大綱5	38	22	2	62
計	204	120	10	334

2. 成果指標について

第5次総合計画前期基本計画における成果指標71のうち、数値が向上した(又は現状維持)指標は、50指標となっている。

○達成又は目標値に近づいた主な成果指標は、次のとおり

【大綱1】 ひとりひとりが役割を持ち輝けるまち(子育て・教育・健康・文化)

保育ニーズは依然として高く、入園者数も増加傾向にあるが、公立幼保施設の再編・保育士の適正配置等により、保育所の待機児童数は継続して0人である。

全国的な男女共同参画推進活動や学校教育及び企業等の取り組みにより、性別にかかわらず個性等を発揮できると感じている市民の割合が増加した。

【大綱2】 地域資源を活用した魅力あふれるまち(産業振興・観光交流)

スポーツ合宿誘致延べ宿泊者数及びスポーツイベント参加者数が、リピーター定着及びイベント等による広報活動により増加した。

観光レクリエーション客数については、市内外イベントでの広報活動や、ヘルシーパーク裾野の入館者数の増加や市内企業工場見学の再開により増加した。

【大綱3】 安心・安全に住み続けられるまち(環境・防災・医療・地域福祉)

市民一人一人のごみ減少や3Rに対する意識の向上や民間資源ステーションの利用者増加により、市民1人1日当たりのごみ排出量が継続して減少した。

自主防災会勉強会や講演会の開催により、自主防災会における積極的な訓練実施が推進され、地域防災訓練への参加者数が増加した。

【大綱4】 将来を見据えた暮らしや活動を支えるまち(都市・交通・社会基盤)

駅西公園の整備及びせせらぎ公園区域拡大により、人口一人当たりの都市公園の整備面積が増加した。

道路橋について、5年間の点検計画に基づき77橋すべての点検を実施し、実施率は100%となった。

【大綱5】 時代のニーズに応えられるまち(市民自治・都市経営)

マイナンバーカードの交付率は、97.5%となり、健康保険証の一体化や市独自のデジタル化・利便性向上施策により着実に増加している。

市民活動支援により自治体加入率及び地域などの活動満足度は目標値を維持している。

3. 活動指標

第5次総合計画前期基本計画の実施計画に活動指標（行政が成果に向けて行う活動）を掲げており、334指標中、204指標が目標を達成している。

参考：R6実績 341指標中、213指標が目標を達成。

R6→R7 指標統合・事業完了▲11件、R7新規指標4件

4. 考察

出産・子育てに関する指標は、幼保再編事業の実施とともに、継続的な子育て支援の取組により実績値が増加している。また、病児保育事業等の新たな取組も着実に実施されている。一方で、母子健康診査事業の指標は横ばいとなっている。

小中学校教育に関する指標については、継続的な人員配置や学校環境整備が行われたことにより、多くの指標で目標を達成できている。今後は、学校再編事業と並行し、学校施設整備を推進していく。

産業・観光分野では、富土地域の観光交流客数やスポーツツーリズム事業の指標は目標値に近づいたが、近年は多くの指標が横ばいとなっている。後期基本計画に向けて、起業・創業を支援する体制の強化や、地域連携による経済の活性化等に取り組んでいく必要がある。

岩波駅周辺整備事業や裾野駅土地区画整理事業等の社会基盤整備は、継続的な事業実施により着実に目標値に近づいている。今後は、既存拠点の再整備による賑わい創出や、道の駅整備事業等による魅力ある基盤整備を推進する必要がある。

フィルムコミッション事業のロケハン件数等、シティプロモーションに関する指標は高い実績値を継続しており、ふるさと納税額が大きく目標値を超える等の成果が表れている。今後も裾野市の魅力を活用し、継続的なシティプロモーションの強化・充実を図っていく必要がある。

マイナンバーカード交付申請総数が目標を達成し、なお実績値が向上していること等から、各施策へのICT導入推進の効果が表れている。今後も継続的な業務改革により、行政サービスの向上を推進していく。

前期基本計画実施計画の活動指標の進捗や傾向を踏まえ、後期基本計画における施策の進捗管理を実施していく。